

目 次

建築・環境学部

| <建築・環境学科> | ページ |
|---|-----|
| 1. 調査対象大学等の概要等 | 1 |
| 2. 授業科目の概要 | 5 |
| 3. 施設・設備の整備状況、経費 | 14 |
| 4. 既設大学等の状況 | 17 |
| 5. 教員組織の状況 (個人情報を含む内容につき、HPでの公表は割愛) | |
| 6. 留意事項等に対する履行状況等 | 44 |
| 7. その他全般的事項 | 48 |

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人関東学院

(2) 大学名 関東学院大学

(3) 大学の位置

〒236-8501
神奈川県横浜市金沢区六浦東一丁目50番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

| 職名 | 設置時 | 変更状況 | 備考 |
|------|-------------------------------------|-------------------------------------|---|
| 理事長 | (イイダ ヨシヒロ) 飯田 嘉宏 (平成21年11月) | (マスダ ヒデオ) 増田 日出雄 (平成25年4月) | 変更の理由：健康上の理由による辞任 変更の時期：平成25年4月1日 報告年度：(25) |
| 学長 | (オオノ コウイチ) 大野 功一 (平成21年12月) | (キク ヒロヨシ) 規矩 大義 (平成25年12月) | 変更の理由：任期満了に伴う交代 変更の時期：平成25年12月19日 報告年度：(26) |
| 学部長 | (ユザワ マサノブ) 湯澤 正信 (平成25年4月) | (オオツカ マサユキ) 大塚 雅之 (平成27年4月) | 変更の理由：死亡退職に伴う交代 変更の時期：平成27年4月1日 報告年度：(27) |
| 学科長等 | (ナカツ ヒデユキ) 中津 秀之 (平成25年4月) | (クロダ タイスケ) 黒田 泰介 (平成26年4月) | 変更の理由：任期満了に伴う交代 変更の時期：平成26年4月1日 報告年度：(26) |

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)

平成28年度に報告する内容 → (28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成25年度開設の4年制の学科の場合(平成28年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

| 調査対象学部等の名称(学位) | 設置時の計画 | | | | 備考 |
|----------------------------------|--------|------|-----------|------|----|
| | 修業年限 | 入学定員 | 編入学定員 | 収容定員 | |
| 建築・環境学部 建築・環境学科 学士(建築・環境学) | 4年 | 130人 | 3年次 2人 | 524人 | |

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

| 区分 | 対象年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 平均入学定員 超過率 | 備考 |
|----------------|-----------------------|--------|-----------------------|--------|-----------------------|--------|-------------------------|--------|-------------------------|--------|---------------|----|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | |
| A 入学定員 | 130 (-) [-] | - | 130 (-) [-] | - | 130 (2) [-] | - | 130 (2) [-] | - | 130 (2) [-] | - | 1.10倍 | |
| 志願者数 | 854 (-) [7] | - | 795 (-) [2] | - | 951 (-) [1] | - | 1,137 (2) [-] | - | 1,137 (2) [-] | - | | |
| 受験者数 | 838 (-) [7] | - | 782 (-) [2] | - | 926 (-) [1] | - | 1,095 (2) [-] | - | 1,095 (2) [-] | - | | |
| 合格者数 | 364 (-) [4] | - | 278 (-) [-] | - | 288 (-) [1] | - | 269 (1) [-] | - | 269 (1) [-] | - | | |
| B 入学者数 | 171 (-) [4] | - | 133 (-) [-] | - | 136 (-) [1] | - | 139 (1) [-] | - | 139 (1) [-] | - | | |
| 入学定員超過率 B/A | 1.31 | | 1.02 | | 1.04 | | 1.06 | | | | | |

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

| 学 年 | 対象年度 | | 平成25年度 | | 平成26年度 | | 平成27年度 | | 平成28年度 | | 備 考 | | |
|-----|-----------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------|--|--------|-----|-----------------------|---------------------|
| | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | 春季入学 | その他の学期 | | | |
| 1年次 | [4] (-) 171 | [-] (-) - | [-] (-) 133 | [-] (-) - | [1] (3) 139 | [-] (-) - | [-] (-) 139 | [-] (-) - | ※入学者数・退学者数との差異 ・H26年度の2年次のうち、 1人は転部 ・H27年度の3年次のうち、 1人は転部 ・H28年度 2年次のうち1人転入 3年次のうち1人編入 4年次のうち3人転出 | | | | |
| 2年次 | / | | [4] (-) 160 | [-] (-) - | [-] (2) 126 | [-] (-) - | [1] (3) 134 | [-] (-) - | | | | | |
| 3年次 | | | / | | / | | [4] (-) 149 | [-] (-) - | | | | [-] (4) 124 | [-] (-) - |
| 4年次 | | | | | | | / | | | | | / | |
| 計 | | | [4] (-) 171 | [4] (-) 293 | [5] (7) 414 | [5] (7) 536 | | | | | | | |

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

| 区分 対象年度 | 入学者数(b) | 退学者数(a) | 退学者数(内訳) | | | 主な退学理由 | 入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b) |
|---------------|---------|---------|----------|------|-----------------|--|----------------------------------|
| | | | 退学した年度 | 退学者数 | 退学者数の うち留学生数 | | |
| 平成25年度 入学者 | 171 人 | 25 人 | 平成25年度 | 8 人 | 0 人 | 就職(3人)、就学意欲低下(2人)、他の教育機関入学(1人)、その他(2人) | 14.6 % |
| | | | 平成26年度 | 10 人 | 0 人 | 他の教育機関入学(2人)、家庭の事情(2人)、学力不足(2人)、就職(1人)、その他(3人) | |
| | | | 平成27年度 | 7 人 | 0 人 | 学力不足(1人)、就学意欲低下(1人)、他の教育機関入学(2人)、学生個人の心身に関する事情(1人)、その他(2人) | |
| | | | 平成28年度 | 0 人 | 0 人 | | |
| 平成26年度 入学者 | 133 人 | 11 人 | 平成26年度 | 5 人 | 0 人 | 他の教育機関入学(1人)、家庭の事情(1人)、就学意欲低下(1人)、その他(2人) | 8.3 % |
| | | | 平成27年度 | 6 人 | 0 人 | 就学意欲低下(1人)、就職(1人)、他の教育機関入学(1人)、その他(3人) | |
| | | | 平成28年度 | 0 人 | 0 人 | | |
| 平成27年度 入学者 | 136 人 | 6 人 | 平成27年度 | 4 人 | 0 人 | 他の教育機関入学(2人)、その他(2人) | 4.4 % |
| | | | 平成28年度 | 2 人 | 0 人 | 他の教育機関入学(2人) | |
| 平成28年度 入学者 | 139 人 | 0 人 | 平成28年度 | 人 | 人 | | 0.0 % |
| 合 計 | 579 人 | 42 人 | | | | | 7.3 % |

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<建築・環境学部 建築・環境学科>

(1) 授業科目表

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当 年次 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備 考 | | |
|------------------------|----------------|-------------------|-------|----|----|----------|-----|--------|--------------|--|---------------|--|--|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | |
| 理工学部 / 建築・環境学部 共通科目 | 共通教育科目 教養科目 | キリスト教学（聖書） | 1春 | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | キリスト教学（技術者としての倫理） | 1秋 | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 文学Ⅰ | 1・2春 | 2 | | | | | | | 兼2 | | |
| | | 文学Ⅱ | 1・2秋 | 2 | | | | | | | 兼2 | | |
| | | 哲学Ⅰ | 1・2春 | 2 | | | | | | | 兼2 | | |
| | | 哲学Ⅱ | 1・2秋 | 2 | | | | | | | 兼2 | | |
| | | 歴史学Ⅰ | 1・2春 | 2 | | | | | | | 兼1 兼2 | | 担当兼任教員の都合による担当者減（28） |
| | | 歴史学Ⅱ | 1・2秋 | 2 | | | | | | | 兼1 兼2 | | 担当兼任教員の都合による担当者減（28） |
| | | サウンドスケープデザイン | 1・2春秋 | 2 | | | | | | | 兼1 | | 担当者の本務の都合により配当期を変更（26） |
| | | 論理学Ⅰ | 1・2春 | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 論理学Ⅱ | 1・2秋 | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 文化人類学Ⅰ | 1・2春 | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 文化人類学Ⅱ | 1・2秋 | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 日本事情（人文） | 1春 | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 経済学Ⅰ | 1・2春 | 2 | | | | | | | 兼2 | | |
| | | 経済学Ⅱ | 1・2秋 | 2 | | | | | | | 兼2 | | |
| | | 社会学 | 1・2春秋 | 2 | | | | | | | 兼1 兼2 + | | 担当者の負担減のためクラス減（28） 教育内容の充実のため秋学期開講クラスを増設及びそれに伴う担当者増（26） |
| | | 社会福祉論 | 1・2秋 | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 法学 | 1・2春秋 | 2 | | | | | | | 兼2 | | |
| | | 憲法 | 1・2春秋 | 2 | | | | | | | 兼2 | | |
| | | 政治学Ⅰ | 1・2春 | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 政治学Ⅱ | 1・2秋 | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 心理学Ⅰ | 1・2春 | 2 | | | | | | | 兼1 兼2 | | 担当兼任教員の都合による担当者の変更（28） |
| | | 心理学Ⅱ | 1・2秋 | 2 | | | | | | | 兼1 兼2 | | 担当兼任教員の都合による担当者の変更（28） |
| | | 日本事情（社会） | 1春 | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | フレッシュヤーズ 세미나 | 1春 | 2 | | 2 | | 1 | | | 兼53 55 | | 担当者の負担減のため、担当者の変更（28） 教育効果の観点から必選別を変更（25） |
| | | 教養セミナー | 1春秋 | 2 | | | | 2 3 | | | 兼1 2 | | 担当者の負担減のため、別クラスを開講したため、運営上問題なし（28） |
| | | 総合コースⅠ | 1秋 | 2 | | | | | | | 兼1 2 | | オムニバス 兼任教員退職のため（28） |
| | | 総合コースⅡ | 1秋 | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 総合コースⅢ | 1春 | 2 | | | | 1 | | | 兼2 | | オムニバス |
| 総合コースⅣ | 1秋 | 2 | | | | | | | 兼4 3 + | 教育内容の充実のための担当者の追加（28） 教育内容の充実のための担当者の追加（25） | | | |
| 英語コミュニケーション論 | 2・3・4春秋 | 2 | | | | | 1 | | | 2学部共通科目に伴う配当期変更（27） | | | |
| 国際コミュニケーション論 | 2・3・4春秋 | 2 | | | | | 1 | | | 2学部共通科目に伴う配当期変更（27） | | | |
| ソーシャルサービス | 1・2・3・4 | 2 | | | | | | | 兼1 | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年度 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | | | |
|--------------------|------------------|----------------------|----------|------|----|----------|--------|--------|----|----|----|-----------------------|---|-------------------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | | |
| 理工学部 / 建築・環境学部共通科目 | 教養科目 | KGUキャリアデザイン入門 | 1春 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | KGUキャリアデザイン基礎Ⅰ | 1・2秋 | | 2 | | | | | | | 兼3 | 全学共通キャリア教育科目設に伴う科目の追加 (25) | |
| | | KGUキャリアデザイン基礎Ⅱ | 2・3春 | | 2 | | | | | | | 兼3 | 兼任講師就任辞退に伴う担当者の変更 (27) 全学共通キャリア教育科目開設に伴う科目の追加 (26) | |
| | | KGUキャリアデザイン応用Ⅰ | 2・3・4春 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 全学共通キャリア教育科目開設に伴う科目の追加 (27) | |
| | | 日本事情 (自然) | 1春 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | KGUかながわ学 (行政) | 1・2・3・4春 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 全学共通科目開設に伴う科目の追加 (28) | |
| | | KGUかながわ学 (経済) | 1・2・3・4春 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 全学共通科目開設に伴う科目の追加 (28) | |
| | | KGUかながわ学 (政治) | 1・2・3・4秋 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 全学共通科目開設に伴う科目の追加 (28) | |
| | | KGUかながわ学 (スポーツ) | 1・2・3・4秋 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 全学共通科目開設に伴う科目の追加 (28) | |
| | | KGUかながわ学 (歴史・文化) | 1・2・3・4秋 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 全学共通科目開設に伴う科目の追加 (28) | |
| | | KGUかながわ学 (自然) | 1・2・3・4春 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 全学共通科目開設に伴う科目の追加 (28) | |
| | | KGUかながわ学 (健康) | 1・2・3・4秋 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 全学共通科目開設に伴う科目の追加 (28) | |
| | KGUかながわ学 (地域づくり) | 1・2・3・4秋 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 全学共通科目開設に伴う科目の追加 (28) | | |
| | KGUかながわ学 (地域安全) | 1・2・3・4春 | | 2 | | | | | | | 兼1 | 全学共通科目開設に伴う科目の追加 (28) | | |
| | 共通教育科目 | 保健体育科目 | 健康スポーツⅠ | 1春 | | 1 | | | | | | | 兼9 8 | ※講義 教育内容の充実のための担当者の追加 (28) |
| | | | 健康スポーツⅡ | 1秋 | | 1 | | | | | | | 兼9 8 | ※講義 教育内容の充実のための担当者の追加 (28) |
| | | | 健康スポーツⅢ | 2春 | | 1 | | | | | | | 兼7 9 | 担当者の変更 (28) |
| | | | 健康スポーツⅣ | 2秋 | | 1 | | | | | | | 兼8 7 | 教育内容の充実のための担当者の追加 (28) |
| | | | 健康スポーツⅤ | 3・4春 | | 1 | | | | | | | 兼1 | |
| | | | 健康スポーツⅥ | 3・4秋 | | 1 | | | | | | | 兼1 | |
| | | | 武道指導論Ⅰ | 3春 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | | | 武道指導論Ⅱ | 3秋 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 外国語科目 | 英語基礎Ⅰ (グラマー) | 1春 | | 1 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 英語基礎Ⅱ (グラマー) | 1秋 | | 1 | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 総合英語 (リーディング) | 1春秋 | 1 | | | 2 | | | | | 兼5 7 6 | 担当者変更。クラス数変更なし (28) クラス数増加による担当者の変更 (25) | |
| | | 総合英語 (リスニング) | 1春秋 | 1 | | | 2 | | | | | 兼5 6 5 | 担当者変更。クラス数変更なし (28) クラス数増加による担当者の変更 (25) | |
| | | 総合英語 (オーラルコミュニケーション) | 1春秋 | 1 | | 1 | | | | | | 兼4 5 4 | 担当者変更。クラス数変更なし (28) クラス数増加による担当者の変更 (25) | |
| | | 総合英語 (ライティング) | 1春秋 | 1 | | | 2 4 | | | | | 兼3 4 3 | クラス数増加及び担当者の変更 (28) クラス数増加による担当者の変更 (25) | |
| | | 英語講読 (科学) | 1・2・3・4春 | | 1 | | | | | | | 兼1 | 教育効果の観点から、配当年度を変更 (26) | |
| | | 英語講読 (文学) | 1・2・3・4秋 | | 1 | | | | | | | 兼1 | 教育効果の観点から、配当年度を変更 (26) | |
| | | 資格英語 (TOEIC基礎) | 1・2・3・4春 | | 1 | | | 2 4 | | | | | クラス数増加に伴う担当者増 (27) 教育効果の観点から、配当年度を変更 (26) | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|---------------------------------------|------------------|-----------|-----|----|----|--|----------|-----|----|----|----|--------------------------------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 理工学部 / 建築・環境学部共通科目 共通教育科目 外国語科目 | 資格英語 (TOEIC中級) | 2・3・4春 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| | 資格英語 (TOEIC上級) | 2・3・4秋 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| | 資格英語 (工業英検) | 1・2・3・4春秋 | | 1 | | | 2 | 1 | | | | 兼2 | 教育内容の充実のためのクラス増 (27) 教育内容の充実のためのクラス増及び配当年次、配当期を変更 (26) |
| | 英語講読 (時事英語) | 23春 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | 教育効果の観点から、配当年次を変更 (27) |
| | 英語講読 (論文) | 23秋 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | 教育効果の観点から、配当年次を変更 (27) |
| | 英語プレゼンテーション I | 1・2・3・4春 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | 教育効果の観点から、配当年次を変更 (26) |
| | 英語プレゼンテーション II | 1・2・3・4秋 | | 1 | | | 1 | | | | | | 教育効果の観点から、配当年次を変更 (26) |
| | アカデミックライティング I | 2・3・4春 | | 1 | | | 1 | | | | | | 教育効果の観点から、配当年次を変更 (26) |
| | アカデミックライティング II | 2・3・4秋 | | 1 | | | 1 | | | | | | 教育効果の観点から、配当年次を変更 (26) |
| | ビジネスイングリッシュ | 2・3・4秋 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| | アカデミックプレゼンテーション | 2・3・4春 | | 1 | | | 1 | | | | | | |
| | インターネットイングリッシュ | 1・2・3・4秋 | | 1 | | | 1 | | | | | | 教育効果の観点から、配当年次を変更 (26) |
| | オーラルコミュニケーション I | 2・3・4春 | | 1 | | | 1 | | | | | 兼2 | 教育効果の観点から、配当年次を変更 (26) |
| | オーラルコミュニケーション II | 2・3・4秋 | | 1 | | | | | | | | 兼3 | 教育効果の観点から、配当年次を変更 (26) |
| | ドイツ語 I A (文法) | 1春秋 | | 1 | | | | | | | | 兼5 | 教育効果の観点から、担当者増 (28) |
| | ドイツ語 I B (文法) | 1春秋 | | 1 | | | | | | | | 兼4 | 教育効果の観点から、担当者増 (28) |
| | ドイツ語 II A (読解) | 1・2春秋 | | 1 | | | | | | | | 兼4 | |
| | ドイツ語 II B (読解) | 1・2春秋 | | 1 | | | | | | | | 兼3 | 教育効果の観点から、担当者増 (26) |
| | ドイツ語 III A | 2・3・4春 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| | ドイツ語 III B | 2・3・4秋 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| | フランス語 I A | 1春 | | 1 | | | | | | | | 兼2 | |
| | フランス語 I B | 1秋 | | 1 | | | | | | | | 兼2 | |
| | フランス語 II A | 2春 | | 1 | | | | | | | | 兼2 | |
| | フランス語 II B | 2秋 | | 1 | | | | | | | | 兼2 | |
| | 中国語 I A | 1春秋 | | 1 | | | | | | | | 兼4 | 教育効果の観点から、配当期を変更 (追加) (28) |
| | 中国語 I B | 1春秋 | | 1 | | | | | | | | 兼4 | 教育効果の観点から、配当期を変更 (追加) (28) |
| | 中国語 II A | 2春秋 | | 1 | | | | | | | | 兼3 | 教育効果の観点から、配当期を変更 (追加) (28) |
| | 中国語 II B | 2春秋 | | 1 | | | | | | | | 兼3 | 教育効果の観点から、配当期を変更 (追加) (28) |
| | スペイン語 I A | 1春 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| | スペイン語 I B | 1秋 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| | スペイン語 II A | 2春 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| | スペイン語 II B | 2秋 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| | ロシア語 I A | 1春 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| | ロシア語 I B | 1秋 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| | ロシア語 II A | 2春 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| | ロシア語 II B | 2秋 | | 1 | | | | | | | | 兼1 | |
| 海外語学演習 (英語) | 1・2・3・4 | | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| 海外語学演習 (中国語) | 1・2・3・4 | | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| 海外語学演習 (韓国語) | 1・2・3・4 | | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| 海外語学演習 (フランス語) | 1・2・3・4 | | 2 | | | | 1 | | | | | | |
| 海外語学演習 (ドイツ語) | 1・2・3・4 | | 2 | | | | 1 | | | | | 提携留学先 (ドイツ語圏) の充実に伴う科目の追加 (25) | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年度 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|--------------------|--|----------------------------|-----|----|----|----------|--------|--------|--------|-------------------------|------------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 理工学部 / 建築・環境学部共通科目 | 理工学部 / 建築・環境学部共通科目—専門基幹科目— （教職課程認定申請時の意見対応による科目区分の細分化に伴う変更（25）） | 微分積分学Ⅰ | | 2 | | 1 | | | | | 兼 7 9 | 兼任講師就任辞退による担当者減。クラス数変更なし（28） |
| | | 微分積分学Ⅱ | | 2 | | 1 | | | | | 兼 7 9 | 兼任講師就任辞退による担当者減。クラス数変更なし（28） |
| | | 線形数学Ⅰ | | 2 | | 1 | | | | | 兼 6 7 | 担当者変更（28） |
| | | 線形数学Ⅱ | | 2 | | 1 | | | | | 兼 6 | 教育効果向上のため担当者増（28） |
| | | 微分方程式 | | 2 | | | | | | | 兼 2 | |
| | | ベクトル解析 | | 2 | | | | | | | 兼 2 | |
| | | 数理統計学Ⅰ | | 2 | | | 1 | | | | 兼 2 | |
| | | 数理統計学Ⅱ | | 2 | | | 1 | | | | 兼 2 | |
| | | 複素関数論Ⅰ | | 2 | | | | | | | 兼 1 | |
| | | 複素関数論Ⅱ | | 2 | | | | | | | 兼 1 | |
| | | 物理学Ⅰ | | 2 | | | | | | | 兼 8 | |
| | | 物理学Ⅱ | | 2 | | | | | | | 兼 4 | |
| | | 物理学Ⅲ | | 2 | | | | | | | 兼 7 | |
| | | 物理学Ⅳ | | 2 | | | | | | | 兼 4 | |
| | | 化学Ⅰ | | 2 | | | | | | | 兼 3 | |
| | | 生物学Ⅰ | | 2 | | | | | | | 兼 2 | 教育内容充実のためのクラス増に伴う担当者増（26） |
| | | 情報基礎及び演習Ⅰ | | 2 | | | | | | | 兼 6 | ※講義 |
| | | 情報基礎及び演習Ⅱ | | 2 | | | | | | | 兼 6 | ※講義 |
| | | 情報概論（情報社会及び情報倫理） | | 2 | | | | | | | 兼 3 | 教育内容の充実のため科目新設（26） |
| | | プログラミング基礎 | | 2 | | | | | | | 兼 7 | ※講義 教育効果の観点から配当年度を変更（25） |
| | | プログラミング応用 | | 2 | | | | | | | 兼 8 | ※講義 教育効果の観点から配当年度を変更（25） |
| | | Webプログラミング | | 2 | | | | | | | 兼 2 | ※講義 |
| | | 理工学概論 | | 2 | 2 | | 6 7 | 4 3 | 3 2 | | 兼 29 26 | 担当教員の科目負担軽減による担当者変更、湯澤教授枠新任教員採用などによる担当者変更（28） 教職課程認定申請の審査時の意見対応に伴う担当者の変更。併せて必選別を変更（25） |
| | | フレッシューズプロジェクト | | 2 | 2 | | 1 | | | | 兼 52 55 | 兼担。兼任教員の都合による担当者減。運営上問題なし（28） 教育効果の観点から必選別の変更（25） |
| | | インターンシップA | | 2 | | | 1 | | | | 兼 11 | |
| | | KGUインターンシップ実習 インターンシップB | | 2 | | | 1 | | | | 兼 11 | 全学共通キャリア教育科目開設に伴う科目名称の変更（27） |
| | | 環境生態学 | | 2 | | | | | | | 兼 2 | |
| | | 環境と化学 | | 2 | | | | | | | 兼 1 | |
| | | 環境地球科学Ⅰ | | 2 | | | | | | | 兼 1 | |
| | | 環境地球科学Ⅱ | | 2 | | | | | | | 兼 1 | |
| 環境社会論 | | 2 | | | | | | | 兼 1 | 専門基幹科目の科目充実のための科目新設（27） | | |
| 環境フィールド演習 | | 2 | | | | | | | 兼 1 | 専門基幹科目の科目充実のための科目新設（27） | | |
| 環境と法 | | 2 | | | | | | | 兼 1 | | | |
| 環境マネジメント | | 2 | | | | | | | 兼 1 | | | |
| 機械工学総論Ⅰ | | 2 | | | | | | | 兼 1 | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年次 | 単位数 | | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | | |
|--------------------|------------------------------------|----------------|-----|----|----|--------|-------------|----|----|----|--|----|--------------------------------|---|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | | |
| 理工学部 / 建築・環境学部共通科目 | 理工学部 / 建築・環境学部による科目区分の細分化に伴う変更(25) | 機械工学総論Ⅱ | 1秋 | 2 | | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 電気工学総論Ⅰ | 2春 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 電気工学総論Ⅱ | 2秋 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 代数学ⅠA | 1春 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 代数学ⅠB | 1秋 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 代数学ⅡA | 2春 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 幾何学ⅠA | 1春 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 幾何学ⅠB | 1秋 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 幾何学ⅡA | 2春 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 木材加工Ⅰ(製図を含む) | 2春 | 2 | | | | 1 | | | | | 兼1 兼2 兼4 | ※講義 担当者の科目負担軽減による担当者変更(27) 教育内容充実のための担当者増(26) |
| | | 木材加工Ⅱ(実習を含む) | 2秋 | 2 | | | | 1 | | | | | 兼1 兼2 兼4 | ※講義 担当者の科目負担軽減による担当者変更(27) 教育内容充実のための担当者増(26) |
| | | 金属加工Ⅰ(製図を含む) | 2春 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | ※講義 |
| | | 金属加工Ⅱ(実習を含む) | 2秋 | 2 | | | | | | | | | 兼1 | ※講義 |
| | | 電気実習 | 2秋 | 1 | | | | | | | | | 兼1 | |
| | | 栽培Ⅰ(実習を含む) | 2春 | 1 | | | | | | | | | 兼1 | ※講義 |
| | | 栽培Ⅱ(実習を含む) | 2秋 | 1 | | | | | | | | | 兼1 | ※講義 |
| | | 機械実習 | 2春 | 1 | | | | | | | | | 兼1 | 集中 |
| 建築・環境学部専門科目 | 専門基礎科目 | 基礎数学Ⅰ | 1春 | 2 | | 1 | | 1 | | | | | 基礎学力の向上を目的とした科目の新設(26) | |
| | | 基礎数学Ⅱ | 1秋 | 2 | | 1 | | 1 | | | | | 基礎学力の向上を目的とした科目の新設(26) | |
| | | 文系のための建築数学・物理 | 1春 | 2 | | | 2 | | | | | | | |
| | | ドローイングワークショップ | 1春 | 2 | | | | | | | | 兼2 | ※講義 | |
| | | モデリングワークショップ | 1秋 | 2 | | | | | | | | 兼2 | ※講義 | |
| | | ビルディング・ワークショップ | 2春 | 3 | | | 1 | | | | | 兼2 | ※講義 | |
| | | 建築法規A | 3秋 | 2 | | | | | | | | 兼1 | | |
| | | 建築法規B | 4春 | 2 | | | | | | | | 兼1 | | |
| | | CAD演習Ⅰ | 1春秋 | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | | CAD演習Ⅱ | 2春 | 2 | | | 1 | | | | | 兼1 | 教育内容充実のため担当者増(28) | |
| | | CAD演習Ⅲ | 2秋 | 2 | | | 1 | | | | | 兼1 | 教育内容充実のため担当者増(28) | |
| | | 測量学及び実習 | 3秋 | 3 | | | | | | | | 兼1 | ※講義 | |
| | | 建築設計製図Ⅰ | 1春 | 2 | | | 1 2 4 | 1 | | | | 兼2 | 担当者変更(28) 教育内容充実のため担当者増(27) | |
| | | 建築設計製図Ⅱ | 1秋 | 2 | | | 2 | | 1 | | | 兼2 | 教育内容充実のため担当者増(27) | |
| 建築設計製図Ⅲ | 2春 | 2 | | | 2 | | 1 | | | 兼5 | 教育内容充実のため担当者増(27) | | | |
| 建築設計製図Ⅳ | 2秋 | 2 | | | 1 | 2 4 | 2 | 4 | | 兼5 | 教育内容充実のため担当者増(28) 教育内容充実のため担当者増(27) | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年度 | 単位数 | | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | | | |
|-------------|---------|-----------------|-----|----|----|---|----------|----|----|----|---|----|-----|---|-----|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | | | | |
| 建築・環境学部専門科目 | 専門応用科目 | エリアサーベイ演習 | 2秋 | | 2 | | | 1 | | | | | 兼 2 | 湯澤教授後任採用による担当者変更 (28) 湯澤教授死亡退職による担当者変更 (27) 履修者数増加による担当者追加 (28) 教育内容充実のため担当者増 (28) 湯澤教授死亡退職による担当者変更 (28) ※講義 湯澤教授新任准教授追加 (28) 湯澤教授死亡退職による担当者増及びオムニバス方式に変更して対応 (27) 湯澤教授退職に伴う担当者変更 (28) オムニバス | |
| | | 住宅ケーススタディ演習 | 2秋 | | 2 | | 1 | | 1 | | | | 兼 1 | | |
| | | 都市再生デザインスタジオ | 3秋 | | 3 | | | | 1 | | | | | | 兼 1 |
| | | 住宅設計スタジオ | 3春 | | 3 | | | | | 1 | | | | | 兼 1 |
| | | 建築環境デザインスタジオ | 3春 | | 3 | | | 2 | 1 | 1 | | | | | 兼 2 |
| | | ハウジングデザインスタジオ | 3春 | | 3 | | | 1 | | | | | | | 兼 2 |
| | | 地域施設デザインスタジオ | 3秋 | | 3 | | | 4 | 1 | 4 | | | | | 兼 2 |
| | | 建築再生デザインスタジオ | 3春 | | 3 | | | 1 | | | | | | | 兼 1 |
| | | 住宅インテリアデザインスタジオ | 3秋 | | 3 | | | | | | 1 | | | | 兼 2 |
| | | パッシブデザインスタジオ | 3秋 | | 3 | | | | | | 1 | | | | 兼 2 |
| | | 建築構法設計製図 | 3春 | | 3 | | | | | | 1 | | | | 兼 1 |
| | | 建築構造設計製図 | 3秋 | | 3 | | | | | | 1 | | | | 兼 1 |
| | | すまいデザインスタジオ | 4春 | | 3 | | | | 1 | 1 | | | | | 兼 1 |
| | | 建築・都市デザインスタジオ | 4春 | | 3 | | | 4 | 2 | 4 | | | | | 兼 4 |
| | | インテリアデザイン | 3春 | | 2 | | | | | | | | | | 兼 1 |
| | | ファニチャーデザイン | 3秋 | | 2 | | | | | | | | | | 兼 1 |
| | | 建築計画・デザイン基礎 | 1春 | 2 | | | | 2 | 2 | 4 | 1 | | | | 兼 1 |
| | | 建築計画及び演習Ⅰ | 1秋 | | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | | 建築計画及び演習Ⅱ | 2春 | | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | | 不動産学基礎 | 2春 | | 2 | | | | | | | | | | 兼 1 |
| | | 建築デザイン論 | 2秋 | | 2 | | | 4 | 1 | | | | | | 兼 1 |
| | | 都市・地域計画論 | 4春 | | 2 | | | | | | | | | | 兼 1 |
| | | 家族論 | 2秋 | | 2 | | | | | | | | | | 兼 1 |
| | | 建築再生計画論 | 3春 | | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | | 都市形成史 | 3春 | | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | | すまいデザイン論 | 3春 | | 2 | | | | | | 1 | | | | |
| | | ランドスケープ論 | 3春 | | 2 | | | | | 1 | | | | | |
| | | 住居史 | 3秋 | | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | | アーバンデザイン | 3秋 | | 2 | | | | | 1 | | | | | |
| | | 日本建築史 | 2春 | | 2 | | | | | | | | | | 兼 1 |
| | | 西洋建築史 | 2秋 | | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | | 近代建築史 | 3春 | | 2 | | | | | | | | | | 兼 1 |
| | | 建築理論史 | 3秋 | | 2 | | | 1 | | | | | | | |
| | | フレームの力学基礎 | 1秋 | 2 | | | | 1 | 1 | 1 | | | | | |
| | | フレームの力学Ⅰ | 2春 | | 2 | | | | | 1 | | | | | |
| | | 静定フレーム演習 | 2春 | | 1 | | | 1 | | | | | | | |
| | | フレームの力学Ⅱ | 2秋 | | 2 | | | | | | 1 | | | | |
| | | 建築構造計画 | 2秋 | | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | 兼 1 |
| | | 建築耐震工学概論 | 2秋 | | 2 | | | 1 | 1 | | | | | | 兼 1 |
| | | 建築構造実験 | 3秋 | | 2 | | | | 1 | 1 | | | | | |
| 不静定フレーム演習 | 3春 | | 1 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 鉄骨構造 | 3春 | | 2 | | | | | | 1 | | | | | | |
| 鉄筋コンクリート構造 | 3春 | | 2 | | | | | 1 | | | | | | | |
| 建築振動学 | 3春 | | 2 | | | 1 | 1 | 1 | | | | | | | |
| 構造解析学 | 3秋 | | 2 | | | 1 | | | | | | | | | |
| フレームの力学Ⅲ | 3春 | | 2 | | | 1 | | | | | | | | | |

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 配当年度 | 単位数 | | | 専任教員等の配置 | | | | | 備考 | |
|-------------|---------------|------|-----|----|--------|----------|-----|----|----|----|--------------------|---------------------------|
| | | | 必修 | 選択 | 自由 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 助手 | | |
| 建築・環境学部専門科目 | 構造設計Ⅰ | 3秋 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 構造設計Ⅱ | 4春 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 基盤・地盤力学 | 4春 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 地震工学概論 | 4春 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 建築生産・材料基礎 | 1秋 | 2 | | | 1 | | 1 | | | 兼1 | 教育内容の充実のため担当者増(27) |
| | 建築構法Ⅰ | 2春 | | 2 | | 1 | | | | | 兼1 | |
| | 建築構法Ⅱ | 2秋 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 建築材料学Ⅰ | 2春 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | 建築材料学Ⅱ | 2秋 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | 建築材料実験 | 2秋 | | 2 | | 1 | 1 | | | | | |
| | 建築病理学 | 3春 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | 建築施工学Ⅰ | 3春 | | 2 | | | | | 1 | | | |
| | 建築施工学Ⅱ | 3秋 | | 2 | | | | | 1 | | 兼1 | 教育内容の充実のため担当者増(27) |
| | ファシリティ・マネジメント | 3秋 | | 2 | | | | | 1 | | | |
| | インテリア材料・施工 | 3秋 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 施工演習 | 4春 | | | 3 | | | | 1 | | 兼1 | 教育内容の充実のため担当者増(27) |
| | 建築環境・設備基礎 | 1秋 | 2 | | | 2 | 1 | 1 | | | | |
| | 建築熱環境 | 2春 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 建築光・音環境 | 2春 | | 2 | | | | | 1 | | | |
| | 建築水環境 | 2秋 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | 建築空気環境 | 2秋 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| | 建築設備・設計演習 | 3秋 | | 2 | | 2 | 1 | 1 | | | | ※講義 教育内容の充実のため担当者増(27) |
| | 電気設備論 | 3春 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | 建築環境・設備実験 | 3春 | | 2 | | 2 | 1 | 1 | | | 兼1 | |
| | 建築設備計画 | 3春 | | 2 | | 1 | | | | | | |
| | パッシブデザイン | 3春 | | 2 | | | | | 1 | | | |
| | 建築環境エネルギー | 3春 | | 2 | | 1 | | | | | 兼1 | |
| | 都市環境 | 3春 | | 2 | | | | | 1 | | 兼1 | |
| | 建築・地球環境論 | 3秋 | | 2 | | | | | | | 兼1 | |
| | 環境シミュレーション | 3秋 | | 2 | | | 1 | | | | | |
| 環境設備リニューアル | 3秋 | | 2 | | 1 | | | | | | | |
| 資源リサイクル | 3秋 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| 建築環境・設備応用 | 4春 | | 2 | | | | | | | 兼2 | | |
| 環境設備維持保全 | 4春 | | 2 | | | | | | | 兼1 | | |
| ゼミナール | 4春秋 | 2 | | | 7 8 | 4 3 | | 4 | | | 湯澤教授退職に伴う担当者変更(28) | |
| 卒業研究 | 4春秋 | 4 | | | 7 8 | 4 3 | | 4 | | | 湯澤教授退職に伴う担当者変更(28) | |

- (注)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成27年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年度」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

| 設置時の計画 | | | | 変更状況 | | | | 備考 |
|--------|-----|----|-----|------|---|-----------|--|----|
| 必修 | 選択 | 自由 | 計 | 必修 | 選択 | 自由 | 計 | |
| 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | 科目 | |
| 16 | 219 | 3 | 238 | 17 | 239 230 227 224 [20] -[11] -[8] -[2] | 0 [Δ3] | 256 247 244 240 [18] -[9] -[6] -[2] | |

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：Δ1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 未開講の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|-----------------|
| 1 | 該当なし | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

| 番号 | 授業科目名 | 単位数 | 配当年次 | 一般・専門 | 必修・選択 | 廃止の理由, 代替措置の有無 |
|----|-------|-----|------|-------|-------|----------------|
| 1 | 該当なし | | | | | |
| 2 | | | | | | |
| 3 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

| |
|------|
| 該当なし |
|------|

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{0}{238} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

| 区 分 | | 内 容 | | | | 備 考 |
|-------------|---------|--|--------------------------|--|--|---|
| 校 地 等 | (1) 区 分 | 専 用 | 共 用 | 共用する他の 学校等の専用 | 計 | |
| | 校舎敷地 | 251,341.83 250,351.44 m ² | 0.00 m ² | 26,381.89 m ² | 277,723.72 276,733.33 m ² | ・左記のうち、871.00 m ² 借用 貸与期間：平成元年12 月7日から30年間 (28) |
| | 運動場用地 | 78,204.49 77,127.52 m ² | 23,515.00 m ² | 13,666.31 14,549.55 m ² | 115,385.80 115,192.07 m ² | ・左記のうち、 1,090.80m ² 借用 貸与期間：平成17年4 月1日から30年間 (28) |
| | 小 計 | 329,546.32 327,478.96 m ² | 23,515.00 m ² | 40,048.20 40,931.44 m ² | 393,109.52 391,925.40 m ² | ・釜利谷校地のうち、 23,515.00m ² を関東学 院高等学校774名、関 東学院中学校774名と 共用 ・葉山セミナーハウス敷地売 却に伴う校地減少(26) |
| | そ の 他 | 7,554.89 6,454.22 12,258.22 m ² | 0.00 m ² | 0.00 m ² | 7,554.89 6,454.22 12,258.22 m ² | ・旧幼稚園舎跡地の大学 への移管による、専 用校舎敷地、運動場用 地の変更(28) (校舎敷地990.39m ² 増、運動場用地 1,076.97m ² 増) ・隣地購入による専用 その他の変更(28) (1,100.67m ² 増) |
| | 合 計 | 337,101.21 333,933.18 339,737.18 m ² | 23,515.00 m ² | 40,048.20 40,931.44 m ² | 400,664.41 398,379.62 404,183.62 m ² | ・別地売却による共有 する他の学校等の専用 運動場用地の変更 (28) (883.24m ² 減) |
| (2) 校 舎 | 専 用 | 144,288.00 135,963.61 136,010.97 m ² | 0.00 m ² | 0.00 m ² | 144,288.00 135,963.61 136,010.97 m ² | 大学全体 |
| | | (132,213.37m ²) | (0.00m ²) | (0.00m ²) | (132,213.37m ²) | 建築・環境棟の設計変 更に伴う変更(25) 新棟完成、既設施設改 修による変更(28) |

| | | | | | | | | | |
|---------------------|--|--|---|--------------------------|--------------------------------------|--|-----------------------|---|--|
| (3) 教室等 | 講義室 | 演習室 | 実験実習室 | 情報処理学習施設 | 語学学習施設 | 大学全体 当該学部に関わらない 既設校舎改修に伴う用途の変更(26) 新棟完成、既設施設改修による変更(28) | | | |
| | 141室 133室 132室 | 101室 102室 88室 89室 | 190室 175室 189室 187室 | 27室 28室 | 9室 | | (補助職員 30人) (補助職員 10人) | | |
| (4) 専任教員研究室 | | 新設学部等の名称 | | 室数 | | | | | |
| | | 建築・環境学部 建築・環境学科 | | 26 室 | | | | | |
| (5) 図書・設備 | 新設学部等の名称 | 図書 〔うち外国書〕 冊 | 学術雑誌 〔うち外国書〕 種 | 電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種 | 視聴覚資料 点 | 機械・器具 点 | 標本 点 | 大学全体の共用分 ・図書 約1,416,000冊 〔約409,000冊〕 約1,406,000冊 〔約407,000冊〕 約1,380,000冊 〔約400,000冊〕 1,290,000冊 〔390,000冊〕 ・学術雑誌 約25,000種 〔約15,054種〕 22,280種 〔12,270種〕 学術雑誌のうち 電子ジャーナル 約11,000種 〔約11,000種〕 8,480種 〔8,470種〕 ・視聴覚資料 約11,000点 約10,000点 5,300点 ・データベース 37種 〔15種〕 32種 〔15種〕 21種 〔8種〕 15種 〔6種〕 教育用図書・器具を充実したことによる変更 (25) (26) (27) (28) | |
| | 建築・環境学部 建築・環境学科 | 30,216 [6,039] (30,221 [5,957]) (29,814 [5,904]) (29,545 [5,900]) (29,189 [5,892]) (28,808 [5,875]) | 317 [159] (317 [159]) | 70 [66] (70 [66]) | 130 (122) (121) | 1,303 (1,306) (1,292) (1,250) (1,242) | () | | |
| | 計 | 30,216 [6,039] (30,221 [5,957]) (29,814 [5,904]) (29,545 [5,900]) (29,189 [5,892]) (28,808 [5,875]) | 317 [159] (317 [159]) | 70 [66] (70 [66]) | 130 (122) (121) | 1,303 (1,306) (1,292) (1,250) (1,242) | () | | |
| (6) 図書館 | 面積 | | 閲覧座席数 | | 収納可能冊数 | | 大学全体 | | |
| | 14,808.27㎡ | | 1,408席 | | 1,609,723冊 | | | | |
| (7) 体育館 | 面積 | | 体育館以外のスポーツ施設の概要 | | | | | | |
| | 7,237.77㎡ | | 野球場1面、陸上競技場1面、テニスコート10面 | | | | | | |
| (8) 経費の見積り及び維持方法の概要 | 経費の見積り | 区分 | 開設年度 | 完成年度 | 区分 | 開設前年度 | 開設年度 | 完成年度 | 図書購入費には電子ジャーナルに関する費用を含む 学内会計処理(期間帰属)の変更に伴う当該年度決算額の変更(26) 「教員1人当り研究費等」は、出張費等研究費単価の見直しによる(27)(28) 「教員1人当り研究費等」は、予算額の変更による。(25) 「設備購入費」は、新棟建設の遅延に伴う購入年度の変更による(25) 「学生1人当り納付金」は、消費税増徴に伴う実験実習費値上げによる変更(27) |
| | | 教員1人当り研究費等 | 484千円 502千円 | 431千円 479千円 494千円 | 図書購入費 | 4,723千円 | 3,677千円 4,970千円 | 5,588千円 | |
| | 共同研究費等 | 0千円 | 0千円 | 設備購入費 | 5,542千円 58,965千円 | 74,792千円 21,369千円 | 20,301千円 | | |
| | 学生1人当り納付金 | 第1年次 | 第2年次 | 第3年次 | 第4年次 | 第5年次 | 第6年次 | | |
| | 1,534千円 1,530千円 | 1,254千円 1,250千円 | 1,254千円 1,250千円 | 1,254千円 1,250千円 | — 千円 | — 千円 | | | |
| 学生納付金以外の維持方法の概要 | | | 手数料収入および資産運用収入から充当する。 | | | | | | |

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

| 大学の名称 | 関東学院大学 | | | | | | | 備考 | |
|----------------------|----------|------------------|----------|------------------|--|-----------------------------------|------------------|------------------------------------|---|
| 既設学部等の名称 | 修業 年限 | 入 定 学 員 | 編入学 員 | 収 定 容 員 | 学位又 は称号 | 平均入 学 定 員 超 過 率 | 開 年 設 度 | 所 在 地 | |
| | 年 | 人 | 年次 人 | 人 | | 倍 | | | |
| 文学部 現代社会学科 | 4 | - | - | - | 学士 (社会学) | - | 昭和 43年度 | 神奈川県 横浜市金沢区 釜利谷南 三丁目22番2号 | 文学部現代社会学科 については 平成27年4月より学 生募集停止 |
| 国際文化学部 英語文化学科 | 4 | 130 | 3年次 2 | 524 | 学士 (英語文 化) | 1.12 | 昭和 43年度 | 神奈川県 横浜市金沢区 釜利谷南 三丁目22番2号 | 国際文化学部 平成27年4月 文学 部より名称変更 |
| 比較文化学科 | 4 | 130 | 3年次 2 | 524 | 学士 (比較文 化) | 0.98 | 平成 14年度 | | 英語文化学科 平成27年4月 英語英米文学科から 名称変更 |
| 社会学部 現代社会学科 | 4 | 180 | 3年次 2 | 360 | 学士 (社会 学) 又は 学士 (社会福 祉学) | 1.09 | 平成 27年度 | 神奈川県 横浜市金沢区 釜利谷南 三丁目22番2号 | |
| 経済学部 経済学科 | 4 | 333 | 3年次 2 | 1,336 | 学士 (経済学) | 1.15 | 昭和 24年度 | 神奈川県 横浜市金沢区 六浦東 一丁目50番1号 | |
| 経営学科 | 4 | 333 | 3年次 2 | 1,336 | 学士 (経営学) | 1.10 | 昭和 37年度 | | |
| 法学部 法学科 | 4 | 330 | - | 1,320 | 学士 (法学) | 0.73 | 平成 3年度 | 神奈川県 小田原市荻窪 1162番地2 | |

| 大学の名称 | 関東学院大学 | | | | | | | | 備考 |
|---------------|----------|------------------|---------------|------------------|--------------------|-----------------------------------|------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 既設学部等の名称 | 修業 年限 | 入 定 学 員 | 編入学 定 員 | 収 定 容 員 | 学位又 は称号 | 平均入 学 定 員 超 過 率 | 開 年 設 度 | 所 在 地 | |
| | 年 | 人 | 年次 人 | 人 | | 倍 | | | |
| 工学部 | | | | | | | | 神奈川県 横浜市金沢区 六浦東 一丁目50番1号 | 工学部については 平成25年4月より学 生募集停止 |
| 機械工学科 | 4 | - | - | - | 学士 (工学) | - | 昭和 24年度 | | |
| 電気電子情報工学科 | 4 | - | - | - | 学士 (工学) | - | 昭和 25年度 | | |
| 情報ネット・メディア工学科 | 4 | - | - | - | 学士 (工学) | - | 平成 16年度 | | |
| 建築学科 | 4 | - | - | - | 学士 (工学) | - | 昭和 24年度 | | |
| 社会環境システム学科 | 4 | - | - | - | 学士 (工学) | - | 昭和 31年度 | | |
| 物質生命科学科 | 4 | - | - | - | 学士 (工学) | - | 昭和 35年度 | | |
| 理工学部 | | | | | | 1.10 | | 神奈川県 横浜市金沢区 六浦東 一丁目50番1号 | |
| 理工学科 | | 438 | 3年次 2 | 1,756 | 学士 (理工学) | 1.10 | 平成 25年度 | | |
| 生命学系 | 4 | 48 | | 192 | | 1.10 | | | |
| 数物学系 | 4 | 20 | | 80 | | 1.11 | | | |
| 化学学系 | 4 | 48 | | 192 | | 1.13 | | | |
| 機械学系 | 4 | 98 | | 392 | | 1.08 | | | |
| 電気学系 | 4 | 68 | | 272 | | 1.09 | | | |
| 情報学系 | 4 | 108 | | 432 | | 1.09 | | | |
| 土木学系 | 4 | 48 | | 192 | | 1.15 | | | |
| 建築・環境学部 | | | | | | 1.10 | | 神奈川県 横浜市金沢区 六浦東 一丁目50番1号 | |
| 建築・環境学科 | 4 | 130 | 3年次 2 | 524 | 学士 (建築・ 環境学) | 1.10 | 平成 25年度 | | |

| 大学の名称 | 関東学院大学 | | | | | | | 備考 | |
|---------------|--------|-----|----------|-----|--------------------|-----------|------------|-----------------------------------|---|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学員 | 編入学員 | 収容量 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開設年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | | | |
| 人間環境学部 | | | | | | - | | 神奈川県 横浜市金沢区 六浦東 一丁目50番1号 | 人間環境学部 現代コミュニケーション学科 及び人間環境デザイン 学科については 平成28年4月より学 生募集停止 |
| 現代コミュニケーション学科 | 4 | - | - | - | 学士 (コミュニケーション学) | - | 平成 14年度 | | |
| 人間環境デザイン学科 | 4 | - | - | - | 学士 (人間環境学) | - | 平成 14年度 | | 健康栄養学科及び人 間発達学科について は 平成27年4月より学 生募集停止 |
| 健康栄養学科 | 4 | - | - | - | 学士 (健康栄養学) | - | 平成 14年度 | | |
| 人間発達学科 | 4 | - | - | - | 学士 (人間発達学) | - | 平成 14年度 | | |
| 人間共生学部 | | | | | | 1.13 | | 神奈川県 横浜市金沢区 六浦東 一丁目50番1号 | |
| コミュニケーション学科 | 4 | 140 | 3年次 2 | 140 | 学士 (コミュニケーション学) | 1.15 | 平成 28年度 | | |
| 共生デザイン学科 | 4 | 90 | 3年次 2 | 90 | 学士 (デザイン学) | 1.08 | 平成 28年度 | | |
| 栄養学部 | | | | | | 1.13 | | 神奈川県 横浜市金沢区 六浦東 一丁目50番1号 | |
| 管理栄養学科 | 4 | 100 | - | 200 | 学士 (栄養学) | 1.13 | 平成 27年度 | | |
| 教育学部 | | | | | | 1.02 | | 神奈川県 横浜市金沢区 六浦東 一丁目50番1号 | |
| こども発達学科 | 4 | 140 | - | 280 | 学士 (教育学) | 1.02 | 平成 27年度 | | |
| 看護学部 | | | | | | 1.11 | | 神奈川県 横浜市金沢区 六浦東 一丁目50番1号 | |
| 看護学科 | 4 | 80 | - | 320 | 学士 (看護学) | 1.11 | 平成 25年度 | | |

| 大学の名称 | 関東学院大学 | | | | | | | | 備考 |
|--------------------|--------|-----|------|-----|---------|-----------|--------|------------------|----|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学員 | 編入学員 | 収容量 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | | | |
| 文学研究科 (博士前期課程) | | | | | | 0.08 | | 神奈川県 横浜市金沢区 | |
| 英語英米文学専攻 | 2 | 8 | - | 16 | 修士(文学) | 0.12 | 平成5年度 | 釜利谷南 三丁目22番2号 | |
| 比較日本文化専攻 | 2 | 8 | - | 16 | 修士(文学) | 0.12 | 平成18年度 | | |
| 社会学専攻 | 2 | 8 | - | 16 | 修士(社会学) | 0.00 | 平成7年度 | | |
| (博士後期課程) | | | | | | 0.42 | | | |
| 英語英米文学専攻 | 3 | 3 | - | 9 | 博士(文学) | 0.00 | 平成8年度 | | |
| 比較日本文化専攻 | 3 | 2 | - | 6 | 博士(文学) | 0.83 | 平成20年度 | | |
| 社会学専攻 | 3 | 2 | - | 6 | 博士(社会学) | 0.66 | 平成9年度 | | |
| 経済学研究科 (博士前期課程) | | | | | | 0.22 | | 神奈川県 横浜市金沢区 | |
| 経済学専攻 | 2 | 10 | - | 20 | 修士(経済学) | 0.35 | 昭和41年度 | 六浦東 一丁目50番1号 | |
| 経営学専攻 | 2 | 10 | - | 20 | 修士(経営学) | 0.10 | 平成6年度 | | |
| (博士後期課程) | | | | | | 0.13 | | | |
| 経済学専攻 | 3 | 5 | - | 15 | 博士(経済学) | 0.13 | 平成11年度 | | |
| 経営学専攻 | 3 | 5 | - | 15 | 博士(経営学) | 0.13 | 平成8年度 | | |
| 法学研究科 (博士前期課程) | | | | | | 0.06 | | 神奈川県 小田原市荻窪 | |
| 法学専攻 | 2 | 8 | - | 16 | 修士(法学) | 0.06 | 平成7年度 | 1162番地2 | |
| (博士後期課程) | | | | | | 0.00 | | | |
| 法学専攻 | 3 | 2 | - | 6 | 博士(法学) | 0.00 | 平成9年度 | | |

| 大学の名称 | 関東学院大学 | | | | | | | | 備考 |
|------------------------------|--------|------|--------|------|-----------|-----------|--------|-----------------------------------|---|
| 既設学部等の名称 | 修業年限 | 入学定員 | 編入学員定員 | 収容定員 | 学位又は称号 | 平均入学定員超過率 | 開設年度 | 所在地 | |
| | 年 | 人 | 年次人 | 人 | | 倍 | | | |
| 工学研究科 (博士前期課程) | | | | | | 0.83 | | 神奈川県 横浜市金沢区 | 工学研究科博士前期課程 平成28年度入学定員減 機械工学専攻、電気工学専攻、土木工学専攻(Δ1) 建築学専攻(Δ2) |
| 機械工学専攻 | 2 | 7 | - | 15 | 修士(工学) | 0.89 | 昭和41年度 | 六浦東 一丁目50番1号 | |
| 電気工学専攻 | 2 | 7 | - | 15 | 修士(工学) | 0.39 | 昭和43年度 | | |
| 情報学専攻 | 2 | 3 | - | 3 | 修士(工学) | 1.00 | 平成28年度 | | |
| 建築学専攻 | 2 | 10 | - | 22 | 修士(工学) | 0.59 | 昭和41年度 | | |
| 土木工学専攻 | 2 | 5 | - | 11 | 修士(工学) | 0.89 | 昭和43年度 | | |
| 物質生命科学専攻 | 2 | 12 | - | 24 | 修士(工学) | 1.29 | 昭和41年度 | | |
| (博士後期課程) | | | | | | 0.54 | | | |
| 電気工学専攻 | 3 | - | - | - | 博士(工学) | - | 平成9年度 | | |
| 建築学専攻 | 3 | 3 | - | 11 | 博士(工学) | 0.27 | 昭和52年度 | | |
| 工業化学専攻 | 3 | - | - | - | 博士(工学) | - | 平成7年度 | | |
| 総合工学専攻 | 3 | 7 | - | 7 | 博士(工学) | 0.85 | 平成28年度 | | |
| 法務研究科 実務法学専攻 (専門職学位課程) | 3 | - | - | - | 法務博士(専門職) | - | 平成16年度 | 神奈川県 横浜市金沢区 六浦東 一丁目50番1号 | |

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

| 区 分 | 留 意 事 項 等 | | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|--------------------------------|--|------|--|--------------------|
| 設 置 時 (平成25年5月) | 該当なし | | | |
| 設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月) | 1. 建築・環境学部 建築・環境学科の入学定員超過の是正に努めること。 | 留意事項 | <p>建築・環境学部建築・環境学科においては、入学定員超過率を1.3倍未満に抑えるべく是正に努め、平成26年度入試において合格者数を平成25年度に比べて2割弱減じて、定員超過率を1.02倍とした。今後も更に是正に努め、平均入学定員においても抑制する計画である。(26)</p> <p>建築・環境学部建築・環境学科においては、入学定員超過率を1.3倍未満に抑えるべく是正に努め、平成27年度入試において定員超過率を1.04倍とし、平均入学定員においても1.12倍としている。引き続き抑制する計画である。(27)</p> <p>建築・環境学部建築・環境学科においては、入学定員超過率を1.3倍未満に抑えるべく是正に努め、平成28年度入試において定員超過率を1.06倍とし、平均入学定員においても1.10倍としている。引き続き抑制する計画である。(28)</p> | |
| | 2. 建築・環境学部 建築・環境学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。 | 留意事項 | <p>建築・環境学部建築・環境学科は、専任教員19人のうち、14人を既設の工学部建築学科からの移籍により配置しているため、結果として、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が高いものとなった。</p> <p>なお、このことを踏まえ、新規採用者（5人）において、若手・中堅の者（年齢層としては、35歳～49歳）を中心に採用した。</p> <p>これにより、完成年度末の年齢構成は、30歳～39歳 1人、40歳～49歳 6人、50歳～59歳 6人、60歳～64歳 0人、65歳～69歳 5人、70歳以上 1人と概ね年代層の人数のバランスを図っている。</p> <p>加えて、規程退職年齢を超える専任教員については、「関東学院大学特約教授に関する規程」（昭和51年4月1日制定）により、雇用期間を満70歳に達した年の年度末（学部完成以前に満70歳に達した場合は、その完成年度）までとしている。</p> | |

| 区 分 | 留 意 事 項 等 | | 履 行 状 況 | 未履行事項について の実施計画 |
|--------------------------------|--|------|--|--------------------|
| 設置計画履行状況 調 査 時 (平成26年2月) | (前頁の続き) | | <p>学部完成年度まで計画の確実な履行とともに、上記規程による雇用契約期間の関係から、完成年度に達した年度以降の人事、退職となる専任教員の後任人事により、退職年齢（65歳）を超える専任教員数を2018年4人、2019年3人、2020年1人と段階的に減らし、2021年には、解消することを計画している。(26)</p> <p>本件に関する平成27年度の履行状況は、下記 平成26年度調査結果に対する履行状況と同じ (27)</p> <p>本件に関する平成28年度の履行状況は、下記 平成27年度調査結果に対する履行状況と同じ (28)</p> | |
| 設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年2月) | <p>建築・環境学部 建築・環境学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。</p> | 改善意見 | <p>学部完成年度まで計画の確実な履行とともに、「関東学院大学特約教授に関する規程」（昭和51年4月1日制定）による雇用契約期間の関係から、完成年度に達した年度以降の人事、退職となる専任教員の後任人事により、退職年齢（65歳）を超える専任教員数を2018年4人、2019年3人、2020年1人と段階的に減らし、2021年には、解消することを計画してたが、不幸にして、2020年退職予定の教員が急逝したため、2021年を待たずに解消する予定である。(27)</p> | |

| 区 分 | 留 意 事 項 等 | 履 行 状 況 | 未 履 行 事 項 に つ い て の 実 施 計 画 |
|--------------------------------|--|---------|--|
| 設置計画履行状況 調 査 時 (平成28年2月) | 建築・環境学部建築・環境学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編製の将来構想について検討すること。 | 改善意見 | <p> 建築・環境学部建築・環境学科は、専任教員19人のうち、14人を既設の工学部建築学科からの移籍により配置しているため、結果として、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数が5人(26.3%)と割合が高いものとなった。 </p> <p> 学部完成年度まで設置計画の確実な履行とともに、規程による雇用契約期間の関係から、完成年度に達した年度以降の人事、退職となる専任教員の後任人事により、退職年齢(65歳)を超える専任教員数を2018年4人、2019年3人、2020年1人と段階的に減らし、2021年には、解消することを計画している。 </p> <p> 2015年度に65歳を超える教員(教授)の物故に伴い、その後任採用にあたり、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努め、2016年度から52歳の准教授を採用する。これにより、退職年齢(65歳)を超える専任教員数は4人(21.0%)に減ることとなる。 </p> <p> 完成年度末の年齢構成以下のとおりであり、 </p> <p> 30歳～39歳 1人、 40歳～49歳 6人、 50歳～59歳 7人、 60歳～64歳 0人、 65歳～69歳 4人 70歳以上 1人 (2016年度末をもって退職) </p> <p> 完成年度以降、退職年齢(65歳)を超える専任教員数は、2017年4人、2018年3人、2020年1人と段階的に減少する。 </p> <p> なお、後任採用人事(退職教員の後任人事)については、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用、教育研究の継続性を考慮した年齢構成による教員配置に努める。(28) </p> |

| | 留意事項等 | | 履行状況 | 未履行事項について の実施計画 |
|------------------------------|--|------|--|--------------------|
| 設置計画履行状況 調査時 (平成28年2月) | 既設学部等(法学部法学科)の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。 | 改善意見 | 学生確保に努めるべく、2016(平成28)年度の学生募集において、全学的な募集活動とともに、例年に加え学部独自の広報にも力を入れた。また、2016年度の新入生から修学地を小田原から金沢八景(横浜市)に変更(在学生については、2017年度に全員変更)することとし、このことも併せて広報をおこなった。2016(平成28)年5月1日時点において、入学者数は、入学定員330人に対して、347人(入学定員超過1.05倍)であり、定員の確保はなされた。次年度(2017(平成29)年度は)、加えて、学部改組により、新学科を設置することとしており、収容定員1,320人(入学定員330人)のうち、404人(入学定員100人、3年次編入学定員2人)を新学科の定員に振替え、法学科の定員は、804人(入学定員200人、3年次編入学定員2人)に変更(減少)する。上記のとおり、新学科の設置に向け、2015(平成27)年10月に「認可又は届出」の事前相談を行い、届出による設置「可」の結果を得ており、現在5月末に設置の届出を行うべく準備を進めている。当該学科の設置に伴い、法学科の入学定員を330人から200人に減じる。(28) | |

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<建築・環境学部 建築・環境学科>

(1) 設置計画変更事項等

| 設置時の計画 | 変更内容・状況, 今後の見通しなど |
|--------|-------------------|
| 該当なし | |

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

| |
|--|
| <p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>全学的な体制：大学FD支援委員会を設置し、全学的取り組みとして、授業公開、学生に対する授業評価アンケート等を実施していたが、2013（平成25）年4月から関東学院大学高等教育研究・開発センター（以下センター）が設置されたことに伴い同センターにおいて実施する。 （関東学院大学高等教育研究・開発センター（規程 別紙））</p> <p>学部における体制：関東学院大学建築・環境学部FD委員会（規程 別紙）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>全学的な状況：センターの運営組織として、FD推進部会、キャリア教育部会、カリキュラム・マップ検討部会、SD推進部会を設置した。</p> <p>学部における状況：第1回建築・環境学部FD委員会：2015年6月3日（水）参加者（5名） 第2回建築・環境学部FD委員会：2015年7月8日（水）参加者（6名） 第3回建築・環境学部FD委員会：2015年7月15日（水）参加者（5名） 第4回建築・環境学部FD委員会：2015年9月1日（火）参加者（6名） 第5回建築・環境学部FD委員会：2015年10月28日（水）参加者（5名） 第6回建築・環境学部FD委員会：2016年3月9日（火）参加者（6名）</p> |
|--|

c 委員会の審議事項等

第1回建築・環境学部FD委員会

審議事項無し

第2回建築・環境学部FD委員会

1. 2015年度FD目標の設定について
2. 2014年度秋学期授業改善アンケート結果の活用について
3. シラバスの検証について

第3回建築・環境学部FD委員会

1. シラバスの検証について

第4回建築・環境学部FD委員会

1. 2015年度FD目標の設定について

第5回建築・環境学部FD委員会

審議事項無し

第6回建築・環境学部FD委員会

1. 2015年度FD目標の評価について
2. 2016年度FD目標の設定について

② 実施状況

a 実施内容

- 全学的な状況：① 関東学院大学 全学FD・SD講習会（新任教員等対象）
② 関東学院大学 全学FD・SDフォーラム
③ 高等教育セミナー

学部における状況：2015年度建築・環境学部夏期研修会

テーマ「新たな入学前教育プログラムの開発と退学者の減少への取り組み」

2015年度建築・環境学部春期研修会

テーマ「建築・環境学部完成年度に向けて：共通・専門分野を合わせた視座に立つ
教育環境の整備」

b 実施方法

全学的な状況：

2015年度

- ① 関東学院大学 全学FD・SD講習会
 1. 本学のFD・SDへの取り組み状況
 2. 講演「関東学院大学生に産業界が期待する能力とは」
 3. グループワーク「本学が育成すべき人材像は、どのようなものか？」
- ② 関東学院大学 全学FD・SDフォーラム
 1. アクティブラーニングの実質化
- ③ 高等教育セミナー
 1. カリキュラムを“可視化”する方法—マップ・フローチャート・ナンバリング等の一体的理解へ—

学部における状況：2015年度建築・環境学部夏期研修会

第Ⅰ部 入学前教育の学部オリジナルプログラムの開発と実施

1. 現状の入学前準備教育の課題と新たな学部オリジナルプログラムの開発に向けて
2. 新規入学前教育プログラムの教材概要
3. ディスカッション；学部オリジナルプログラムの実施に向けて

第Ⅱ部 退学者減少への取り組み

1. 退学率と学生面談の現況
2. ディスカッション：退学者減少への対応策とその実践

2015年度建築・環境学部春期研修会

第Ⅰ部 入試関連報告

1. 2015年度入試結果報告
2. 入学前準備教育報告

第Ⅱ部 学部が求める教育環境の構築

1. 建築・環境学と共通教育科目 共通教育からの報告
2. グローバル人材の育成と要請に関する基礎情報
3. 専門教育とグローバル人材養成に関する提案

第Ⅲ部 教育ビジョンの視覚化

1. 学部カリキュラムマップの確認
2. 教育ビジョンの視覚化をめぐる最新情報 研究会報告
3. カリキュラムマップ作成ワークショップ

c 開催状況（教員の参加状況含む）

全学的な状況：

2015年度

- ① 2015年4月29日（水）13：00～16：30 参加者：49人
- ② 2015年9月2日（水）15：00～17：00 参加者：208人
- ③ 2015年11月14日（土）13：00～16：30 参加者：64人

学部における状況：2015年度建築・環境学部夏期研修会 2015年9月1日（火）13：00～17：00 参加者：16人

2015年度建築・環境学部春期研修会 2016年3月10日（木）13：00～16：40 参加者：14人

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

○演習系科目において、建築・環境棟（5号館）の建築・環境技術を題材とした建築・環境学教育を実施している。

○初年次教育については、学生に課す課題内容の見直しとその学習のさせ方について検討中である。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

全学的な体制により実施しており、授業評価アンケート調査は、7月および1月に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート集計結果については、各担当教員へ配布し、次年度の授業に反映させる。

また、集計結果を基に、実施報告書と大学全体の総括的報告書にまとめ学内で公開する。

学生への公開については、教務課にて「建築・環境学部 学生による授業改善アンケート報告書」が閲覧可能である。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

| |
|--|
| <p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 別紙のとおり</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <ul style="list-style-type: none">・既設の学部等については、2013(平成25)年度に大学評価(認証評価)申請を行い、当該申請に併せて作成した。また、2012年度自己点検・評価より、毎年、自己点検・評価を実施し、構成員に外部委員を含めた大学評価委員会で、大学の改革・改善に向けた客観的な評価を行っている。・建築・環境学部については、2014(平成26年)年度に作成した報告書を大学ホームページに掲載した。 <p>a 公表(予定)時期</p> <ul style="list-style-type: none">・2015年3月1日 公表 <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・自己点検・評価報告書を大学ホームページに掲載し、学内各部署、修了生、在学生、希望者が閲覧できるようにする。・大学ホームページ上に公開 <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・既設学部等については、2013(平成25)年度に新大学評価システムのもとで自己点検・評価を実施し、大学基準協会へ大学評価の申請を行った結果、評価基準に適合しているとして下記の期間を認定期間として認められた。今回は、2020(平成32)年度に同評価機関の評価を受ける予定である。 <p>認定期間：2014(平成26)年4月1日から2021(平成33)年3月31日</p> <ul style="list-style-type: none">・なお、建築・環境学部については、2020(平成32)年度に評価機関(大学基準協会)の評価を受ける予定である。 |
|--|

(注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

| |
|--|
| <p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)</p> <p>b 公表時期(未公表の場合は予定時期) (2016 年 6 月 30 日)</p> |
|--|

別紙

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

建築・環境学部は、教育研究上の目的として「キリスト教の精神に基づく人格の陶冶を旨とし、『人になれ 奉仕せよ』の校訓のもとに、建築分野及び環境分野を中心とした専門的な学術の理論と応用、更に社会的実践の基礎を教授することにより、豊かな教養と高度で専門的な知識や技術を有し、社会が求める諸問題に対して、広い視野から、総合的にかつ創造的に取り組みができる職能人、技術者及び研究者を養成すること」を掲げて設置し、今年度で完成年度を迎える。

以下、具体的に報告する。

教育課程の編成

完成年度を迎え、当初計画していた全ての科目を開講している。

開設年度は、予想を上回る入学者があったこと等から、必修としている英語科目において、学習効果維持のためクラス数を増加させることで対応した。翌年度以降は、少人数教育による教育効果を維持するために、完成年度までこのクラス編成を継続することとした。また、他の科目においても教育効果を意識し、必要な改善を行っており、製図、実習、演習科目において、担当者あるいはTA、SAを増員したのも、その一環である。

一方で、担当専任教員の急逝、兼任教員の都合による就任辞退等、不測な事態も発生したが、後任者を充てることで、支障なく運営している。

教員組織の編成

専任教員については、設置計画の通り、開設1年目の2013（平成25）年4月に18人が就任している。昨年（2015（平成27）年）に残る1人も予定通り就任し、計画通りの教員配置となったが、不幸にして2015年3月に学部長 湯澤正信教授が急逝したため、2016年度にその後任を採用した。その後任採用にあつては、年齢構成等を考慮し50代の准教授を採用した。なお、学部長の後任として、大塚雅之教授が教授会で選出されている。

最終的な教員組織の構成は、教授11人、准教授4人、講師4人となっている。

教育方法、履修指導方法及び卒業要件

新入生に対する履修指導については2015年度から全学統一の日程で行うこととなり、教務課主催のオリエンテーションと学部主催のオリエンテーションを全新生に行い、その中で学科教員と教務課職員とによる履修相談会の実施、教務課窓口による指導等の個別的な履修指導を昨年同様実施した。

3年次編入学者については、編入学時に、学科長（教員）及び教務課員（職員）とで、個

別の履修指導を行った。

なお、2015 年度転部生は 1 人（理工学部・都市防災コースより転部）であった。

施設、設備等の整備状況

施設については、新棟の完成により、製図室、スタジオ等のスペースが確保され、当初の計画通りの教育環境を整備している。年次進行に伴う配当科目に対し、2014 年度秋学期より主に 1、2 年次生が製図室を、2015 年度より 3 年次以降がスタジオ関連科目、卒業研究等で施設が順調に利用されている。

入学者選抜の状況

昨年度に引き続き 2016 年度入試においても、設置時の計画どおり、一般入試、大学入試センター利用試験、AO入試、推薦入試を実施した。開設年度である 2013 年度の入学定員超過以降、入学定員の適正な管理を行うべく、入学定員の超過の是正に努めており、2016 年度の入学定員超過率は 1.06 倍、開設年度からの平均入学定員超過率は 1.10 倍である。

2015 年度から 3 年次編入学試験を実施し、今年度（2016 年度入試）の受験者は 2 人、入学者は 1 人であった。

社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

教育課程内の取組みとして、全学共通キャリア教育科目「KGU キャリアデザイン入門」が 2013 年 4 月から開講されており、4 年目になる今年度も 1 年生全員が履修している。

また、2013 年度から全学共通開設の「KGU キャリアデザイン基礎Ⅰ」、2014 年度から「KGU キャリアデザイン基礎Ⅱ」を開講し、加えて、2015 年度から「KGU キャリアデザイン応用Ⅰ」も開講し、初年次から業種に対する知識や職業観を身につけさせるよう取り組んでいる。なお、今年度からは、地域に関する理解を推進するため、全学共通科目「KGU かながわ学」（全 9 科目）を開講している。

インターンシップについては、昨年度から 3・4 年生を対象に全学的に行うこととなり、科目名称も「KGU インターンシップ実習」に統一して開講している。

そのほか、教育課程外の取組みでは、教務課主催のオリエンテーション時に、就職支援センターから「本学就職センター案内、利用のルール」、「KGU 就活 NAVI（就職支援システム）登録方法」等の案内を配付し、説明を行った。

以上